

平成 30 年度学校評価アンケートのまとめ・今後の取り組みについて

滋賀県立瀬田工業高等学校（全日制）

今年度の学校評価を行うにあたり、本校に在籍するすべての生徒・保護者・教職員を対象にアンケート調査を実施しました。また、学校評議員から学校運営についてご意見をいただきました。これらのことから「ほぼ当てはまる」「やや当てはまる」を肯定的評価、「どちらかという当てはまらない」「ほとんど当てはまらない」を否定的評価として集計しました。

【保護者アンケート】

すべての項目において肯定的評価が多く、「Q2 瀬田工に入学させて良かった」「Q7 資格取得」「Q13 進路指導」「Q3 職員の対応」は高い評価でした。一方、「Q4 施設・設備の充実」「Q9 図書館利用」の項目は、低い評価でした。

【生徒アンケート】

肯定的評価が高い項目は「Q7 専門的な学習内容」「Q8 資格取得」「Q14 進路指導」「Q15 部活動」「Q19 人権教育」でした。一方、「Q5 授業は学習意欲が高まるよう工夫されていて分かりやすい」「Q6 授業内容の理解」「Q4 施設・設備の充実」「Q12 悩みや相談に親身にに応じてくれる先生がいる」の項目は低い評価でした。

【教職員アンケート】

多くの項目において高い評価でしたが、「Q4 施設・設備の充実」「Q6 授業内容の理解」は低い評価でした。

【まとめ】

本校は、社会的・職業的自立を目指し、基本的な生活習慣の確立ができるよう指導しています。今後、さらに専門的な知識・技能の習得、資格取得に向けた指導等を行うとともに、キャリア教育を充実させ生徒一人ひとりが希望する進路が実現できるよう計画的・組織的な指導を進めます。

平成 30 年度より、学校運営協議会を設置し、新たにコミュニティ・スクールとして地域との連携強化を図りスタートしました。近隣の幼小中学校・企業・大学・地域とより一層連携を深め、学校の活性化を促進し、地域貢献に努めます。

情報モラル教育講演会を引き続き実施し、インターネット（SNS）の活用方法については、生徒だけに任せるのではなく保護者の理解や協力を得て、よりよい使い方を考えトラブルに巻き込まれないよう努めます。

生徒のアンケートから、一部の生徒は授業内容が十分理解できず、伸び悩んでいる生徒がいます。教科指導の在り方（分かりやすい授業づくり）、日常の生徒への指導（傾聴し生徒に理解させる指導）、学級経営などについてより一層改善を図り、生徒の成長を支える指導に努めます。

また、生徒・保護者と学校との信頼関係を構築し、生徒の悩みや困りが相談できる体制の充実と支援に努めます。

学校施設・設備など予算が関わる事案については、県へ更新および修繕を適宜要望していきます。

【アンケート回収率】

	生徒数	生徒回収率	保護者回収率
1年	280	270 (96.4%)	235 (83.9%)
2年	275	267 (97.1%)	252 (91.6%)
3年	267	265 (99.3%)	248 (92.9%)
全体	822	802 (97.6%)	735 (89.4%)